

九州先端科学技術研究所における新型コロナウイルス感染症に関する対応について

公益財団法人九州先端科学技術研究所では、令和2年度に予定していた事業はいち早くオンラインを活用するなど手法を変更して実施しました。

令和3年度も各事業のオンライン化を継続するとともに、オンライン対応へのサポートが必要な市内企業等への支援を引き続き行います。

■ 令和3年度 催事や企業相談などのオンライン化（主なもの）

○福岡市 IoT コンソーシアム

- ・総会や各ワーキンググループのオンラインによる開催
- ・講演・展示等で構成する「ふくおか AI・IoT まつり」のオンラインによる開催

○エンジニアフレンドリーシティ福岡事業

- ・エンジニアへのインタビューや各種催事のオンラインによる実施

○市民講演会の開催

- ・テレワークやWeb会議などに用いられているオンラインツールの活用方法について、講演・ワークショップをオンラインで開催

○小中学生向け夏休み体験実験

- ・家庭でも安全に実施できる実験を選定し、オンラインによる実施

○分析・解析よろず相談事業「分析NEXT」

- ・企業からの相談に対して、オンラインを活用した対応

○緊急相談窓口の設置

- ・オンライン会議、テレワーク導入に関する相談対応

○オンライン配信支援

- ・オンライン配信が可能なスタジオの提供や機材の使用方法など技術相談に対応

○福岡のエンジニアコミュニティの活動を支援

- ・新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイトの運営支援